

⑩ナルトサワギク

ナルトサワギク (*Senecio madagascariensis*) キク科 原産地：マダガスカル島

導入経緯：国内へは、埋立地の緑化材料を国外から輸入した際に種子が混入して導入されたと考えられており、1976年に徳島県鳴門市で確認されている。

生態：温帯から暖帯に分布し、海辺の埋立地、空地、路傍、河川などに生育する。繁殖力が強い。葉に毒性を持つ。開花は周年。

【調査結果概要】

本種は、2006年にいわき市泉町の海岸近くの道路脇で生育が確認された。東北地方では初確認であり、現時点では生育域の拡大は確認されていない。

国内では、徳島県および兵庫県のほか、和歌山県、岡山県、高知県、鹿児島県でも確認されている。

また、タンポポのような綿毛を飛ばして繁殖し、繁殖力が強いことから、今後も継続して情報収集を行うとともに、分布域が拡大する前に除去等の対策を行う必要がある。

ナルトサワギク：環境省HPより



